



## 日本の食材・食品の実態から 有機食材 (野菜) について考える

ノブルへ 🌣 🍅 🍮 シノナ 🐚 🔪 🍅 🍏 ノブルへ

日時:2023年11月21日(火) 13:30~15:40 参加者:34名 開催形式: オンライン (Zoom) 主催:23区消費者団体活動情報交流会実行委員会 東京都消費者月間協賛事業

遺伝子組み換え食品やゲノム食品、昆虫食などが知らないうちに世の中に浸透 してきています。今回は日本の食料・食品の実態から、有機食材・野菜について の講演と有機給食の取組み報告を聞き、有機食材・野菜が体にも地球環境にも良 い理由を知り、有機食材・野菜をもっと普及させるために私たちができることを 感想も含めグループで交流しました。



司会:海老澤 恵子さん 中野区消費者団体連絡会



川端 法子さん 練馬区消費生活センター運営連絡会 開会挨拶 今年度は食をテーマに開催します。開催前に実行委員会メンバー で学習会を行いましたが、食に関してまだまだ私たちが知らない

ことが多くあると気づきました。本日は、日本の食の現状、食の未来についての 希望など、安田さんの講演と中村さんの取組報告をお聞きし、自分たちはどう行 動できるか考え合いたいと思います。

## 「食べ物が劣化する日本と希望の有機給食」 食政策センター・ビジョン21 代表/日本有機農業研究会 理事 安田 節子さん

日本の食について、皆さん国際的に見ても安全性が確保されていると思っていませんか? 昨今、日本の食は知らない間に劣化してしまっています。今回は海外との関係から日本の 食についてお話します。

「日本の安全規制緩和・後退へ」海外農産物輸入の為に、指定添加物が増えています。着色 料のカルミン酸(コチニール)も認可されましたが、アナフィラキシーショックを起こして しまう例もあり注意が必要です。又、輸入肉への規制も緩くなっています。検疫検査がモニ タリングのみとなってしまったり、EU など多くの国で使用禁止となっている塩酸ラクトパ ミンに対しては、禁止ではなく残留基準値を設定しています。



「農薬基準の緩和」遺伝子組換えの畑で使用する除草剤には、環境ホルモン作用があり、癌や脂肪肝、子どもの 神経に作用すると言われています。これらの農薬の主成分であるグリホサートは海外では使用規制や禁止など の処置がとられていますが、日本は使用基準を大幅に緩和しています。又、今、問題になっている農薬が有機リ ン系農薬、ネオニコチノイド系農薬です。日本での使用量が多い、神経毒性農薬ですが、子どもの脳への影響な ども問題視され、EUはじめ諸外国では使用禁止や規制強化が進んでいます。

「**有機農業への転換を急げ!**」私たちの身体は、新陳代謝を繰り返し細胞は入れ替わっています。食べ物を変え れば、体の中に入っている有害物質も排出されていきます。最近の調査では、有機の食材が農薬を体外排出する という結果がいくつも出ています。有機食材の需要が増えれば供給も増えます。まずは学校給食から有機食材に 変え、病院、公共施設の食堂、高齢者ケア施設、フードバンクなど、公共事業、公共調達として有機食材を使う ことは、持続可能な有機フードシステムを達成するための大きなステップです。

## 「オーガニック給食の成功事例から学ぶ」 NPO 法人 メダカのがっこう 理事長 中村 陽子さん



「**なぜ有機農作物に子どもを良くする力があるのか**」体内の農薬を大幅に減らすことや、 農薬の害がないだけでなく、人間を元気にする栄養価が多く含まれていることが科学的にわ かっています。又、給食をオーガニック食材に変えたことで、子供の体温が上がり、アトピ ーやアレルギーの改善、欠席日数の減少などの変化が起きた保育園の報告もあります。

「武蔵野市の取組」農家さんの「良い食材を子どもたちに食べさせたい」という思いに担任 の先生が共鳴し、栄養士さんが実務を引き受け、校長を動かし「素性の分かる安全給食」が実現しました。季節 の食材に合わせたメニューを栄養士さんが作り、有志のおかあさんたちが必要な食材を全国駆け巡って探し、 食材の収穫や下処理なども行うなど、実行するには多くの人の連係プレーがありました。

**「子どもたちと農業を守れるのは・・・」**続けていくには様々な困難があり、国策との違いで大変だったこと もありましたが、財団を設立することで乗り切りました。国の姿勢には大いに問題がありますが、学校給食は 自治体の裁量です。だから、子どもたちと農業を守れるのは自治体なのです。

## 閉会挨拶

本日は有意義なお話をありがとうございました。講演と報告をお聞き し有機食材の大切さについて学ぶことができました。

生産者にとって有機に変えるハードルが高いようなら、まずはネオニコチノイドを やめることから始めてもらってはどうでしょうか。「有機給食が未来を変える」 そして 「学校給食は自治体の裁量」など、今日知り学んだことを私たち一人一人が広め、社 会を変えていければと思いました。



▶ 清水 洋子さん

目黒区消費者グループ連絡会